



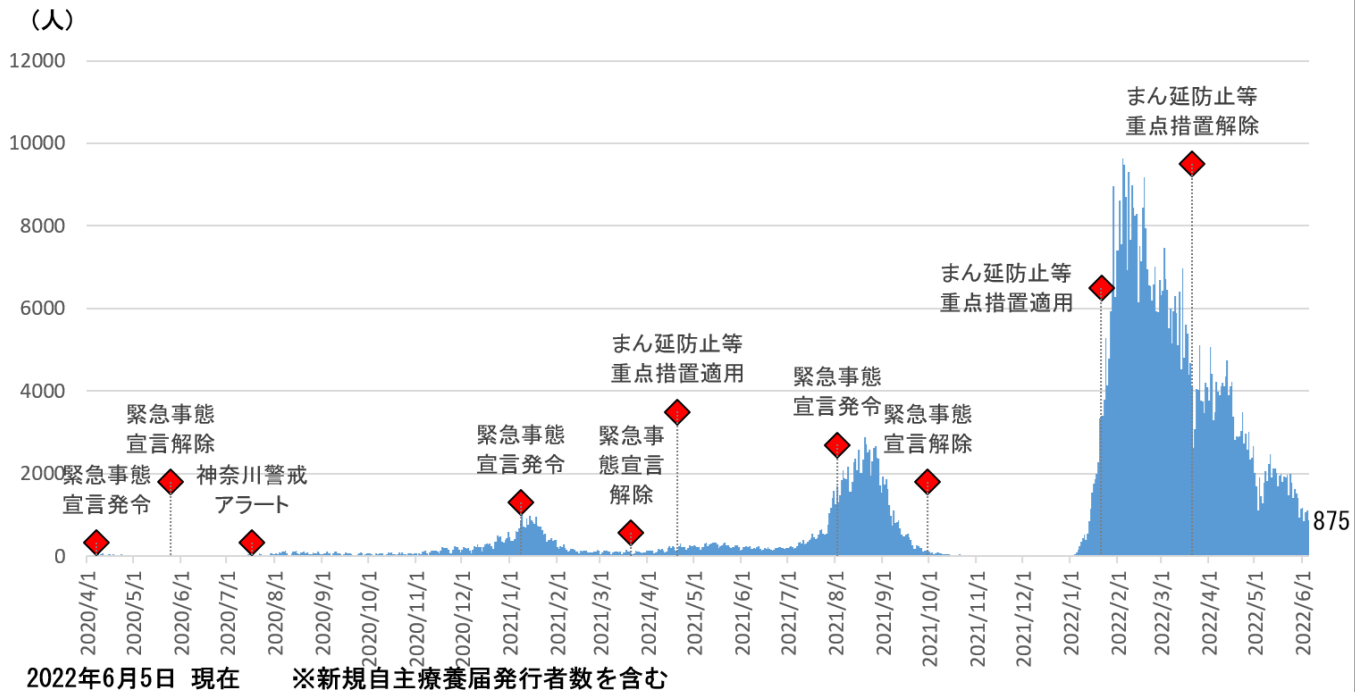
神奈川県における高齢者施設での 陽性者発生時の医療的対応

神奈川県 医療危機対策本部室

2022年6月6日 v0.41

新規感染者（新規自主療養届発行者数を含む）の推移（実数・日別）

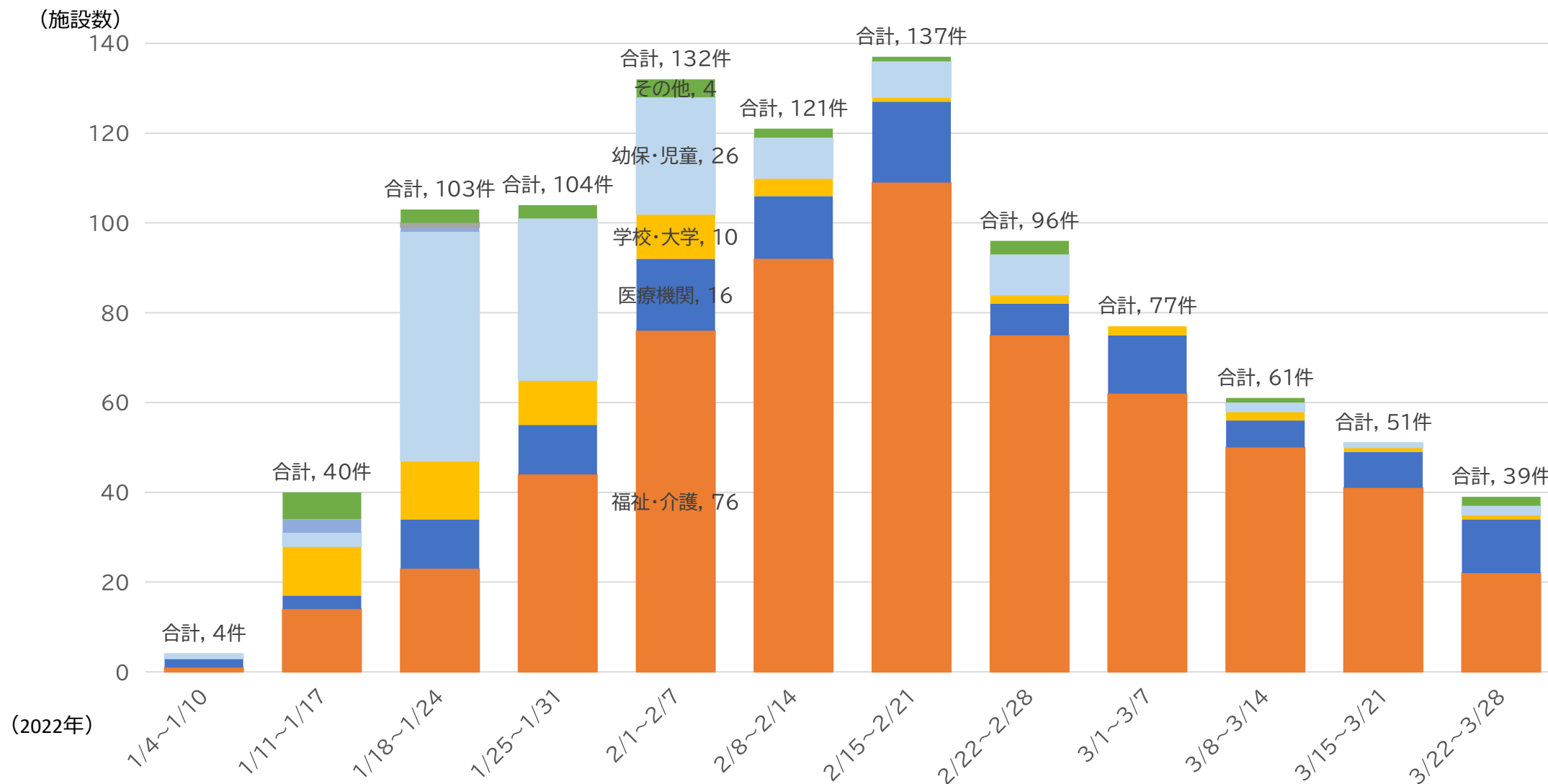
令和4年6月5日現在



	日	月	火	水	木	金	土	
4月	10	11	12	13	14	15	16	週合計
	4197人	4110人	4351人	4753人	3906人	4111人	4227人	29655人
	17	18	19	20	21	22	23	週合計
	3378人	2817人	2914人	2875人	2904人	3026人	3493人	21407人
	24	25	26	27	28	29	30	週合計
	2731人	2968人	2588人	3022人	2336人	2377人	2667人	18689人
5月	5/1	2	3	4	5	6	7	週合計
	2026人	1701人	1101人	1910人	1448人	1274人	1776人	11236人
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	2072人	1821人	2226人	2476人	1911人	2129人	2122人	14757人
	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	2013人	1700人	1962人	1987人	1798人	1934人	1905人	13299人
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
	1977人	1474人	1994人	1775人	1411人	1632人	1512人	11775人
	29	30	31	6/1	2	3	4	週合計
6月	1410人	940人	1156人	1183人	860人	1059人	1118人	7726人
	5	6	7	8	9	10	11	
	875人							

※新規感染者数（新規自主療養届発行者数を含む）

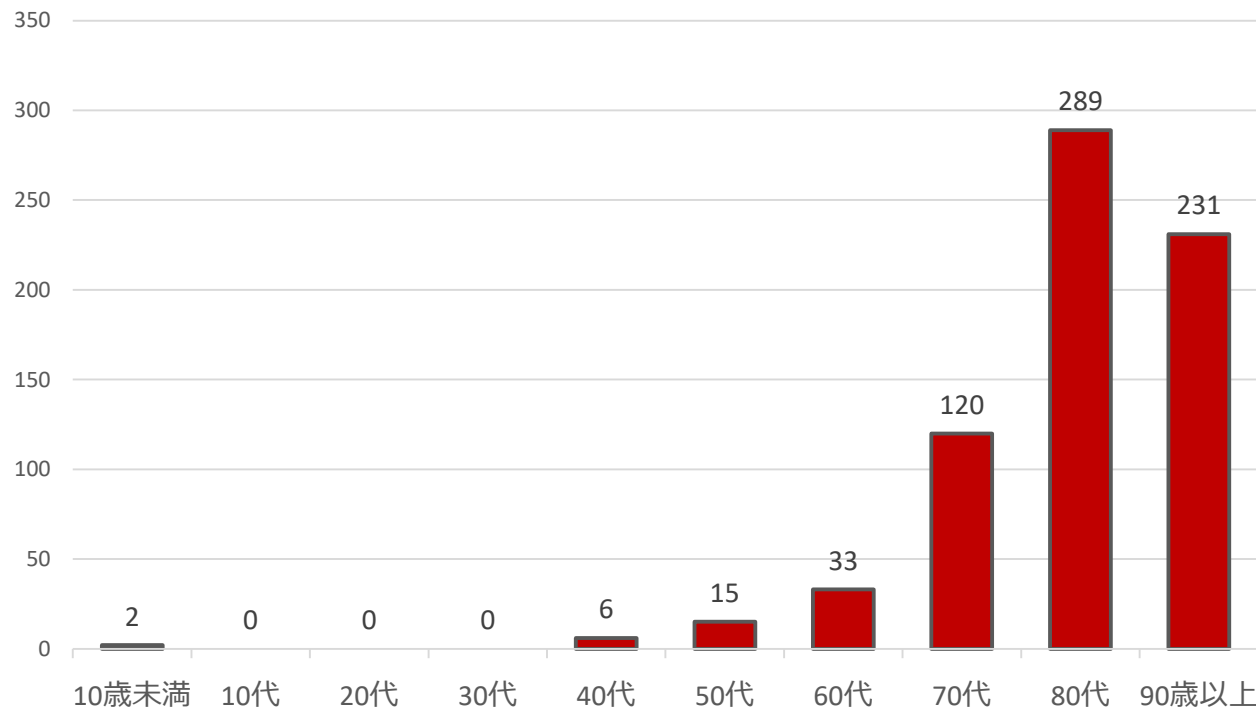
第6波におけるクラスター発生状況（施設別）



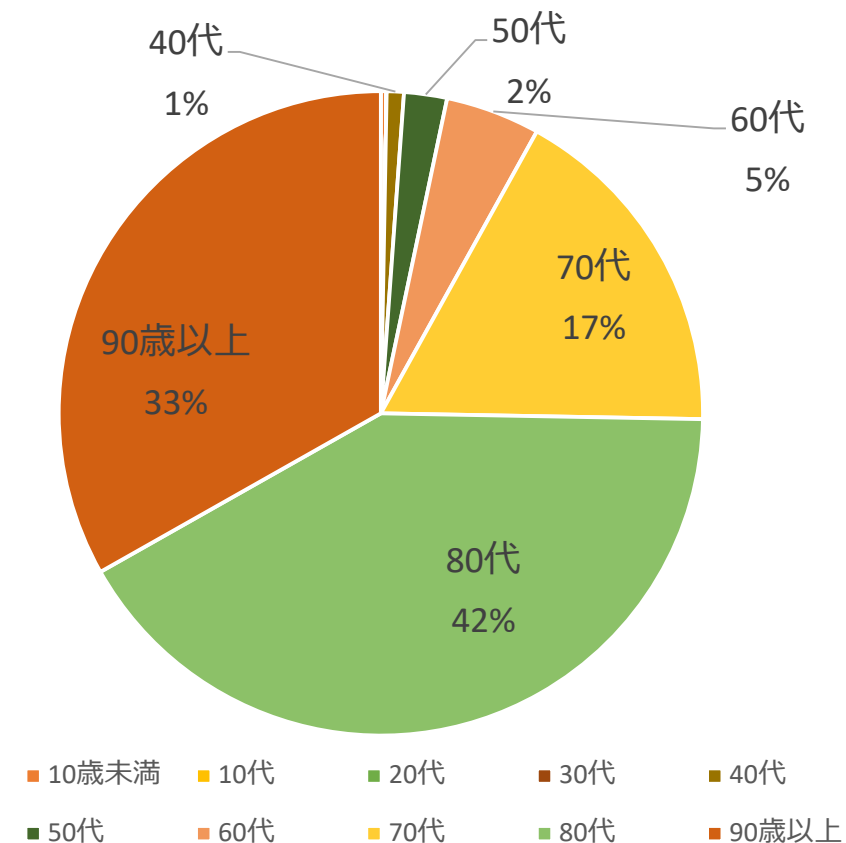
神奈川県令和4年1月～3月の死亡者数（年代別）





年代別死亡者数は60歳代以上で96.70% 70歳代以上で91.95%

令和4年1月～3月の年代別死亡者数（n：696）



令和4年1月～3月の年代別死亡者の割合



負荷の原因	
① 	入院患者増加
② 	入院患者の介護負荷の増
③ 	他の病棟閉鎖・ 一般診療停止
④ 	救急外来受診増

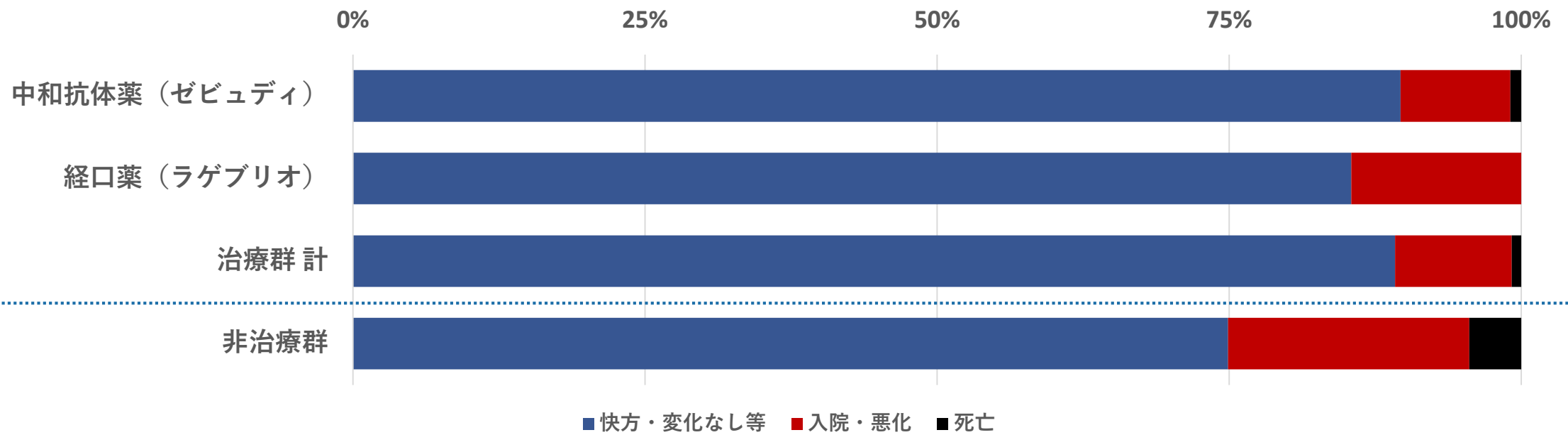


高齢者の感染対策
重症化予防がキーとなる

施設での陽性発生時において、**早期の検査** 及び **治療薬の投与** を
積極的にすすめていきます

高齢者施設における治療群・非治療群の比較

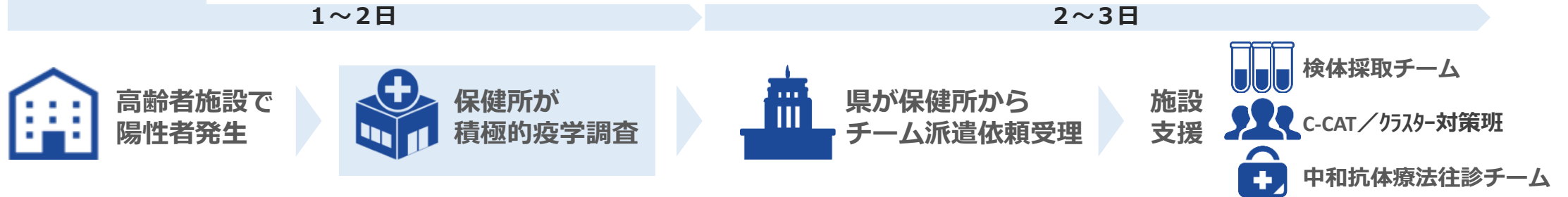
(2022年1月～3月)



○ 比較に使用した施設データの内訳（参考）

	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	有料老人ホーム等	計
治療群	9(30.0%)	6(20.0%)	15(50.0%)	30(100%)
非治療群	7(31.8%)	7(31.8%)	8(36.4%)	22(100%)

従来への対応

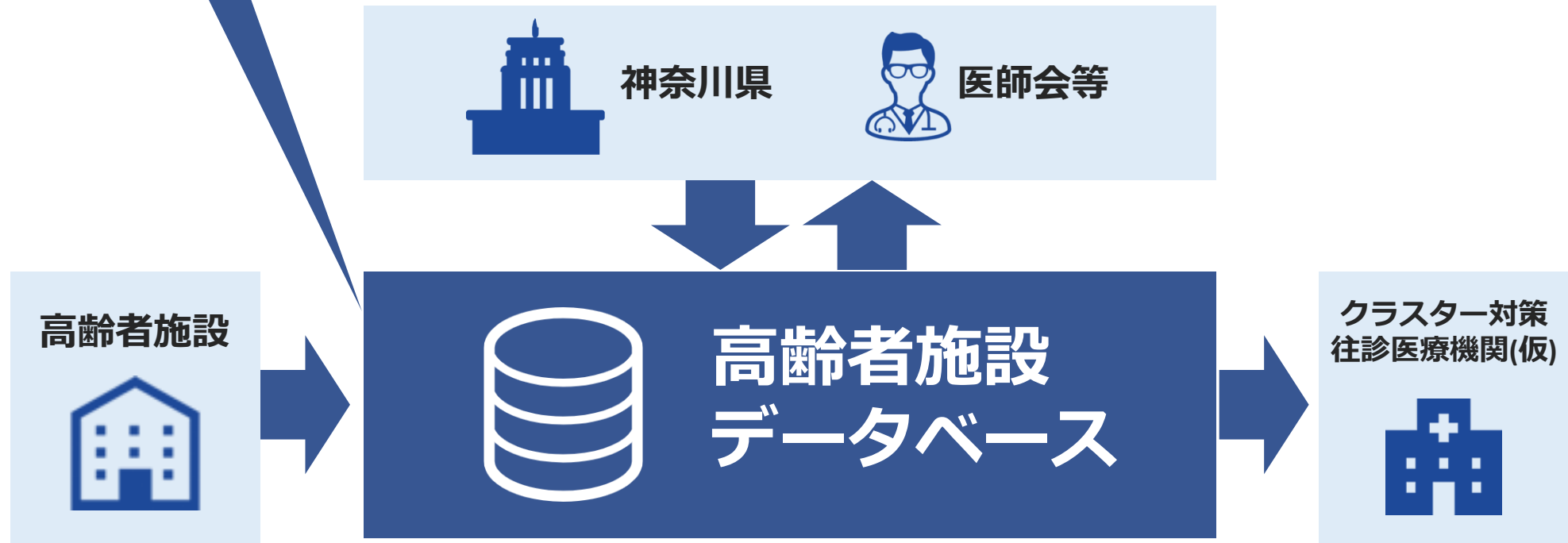


今後の対応



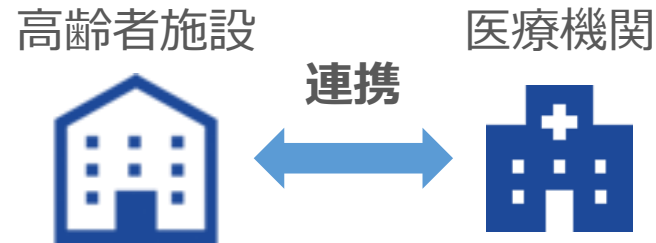
検体採取チームを充実・強化し、迅速に検査・治療へつなげる体制を構築します

県内の入所系高齢者施設に、医療機関との連携状況を調査しました



関係者が最新の医療連携情報を反映・共有できる、
統合型データベースを整備します

高齢者施設と医療機関の連携



- 施設で陽性者発生時は、連携する医療機関が治療を担当
- 連携する医療機関がない場合は、**治療を担当する「クラスター対策往診医療機関（仮）」**を神奈川県が事前にリスト化

**各施設におかれましては、連携医療機関と事前に
新型コロナの治療について十分に相談し準備をお願いします。**

A特別養護老人ホーム（1F：通所事業及び事務所 2・3F：居住スペース）の場合

1日目

施設で陽性者が発生

- ・ 2F職員1名、利用者2名、医療機関を受診し新型コロナウイルス感染症と診断
- ・ 日時報告Webフォームで県に対し陽性者を報告

県クラスター班の状況聞き取り

- ・ 県クラスター班が施設に発生状況を聞き取ったところ、他の入所者で有症状者が数名いることが判明
- ・ 早期治療の介入が必要と考えられるため、**検体採取実施を決定**
- ・ 検体採取実施に向けて施設と調整

2日目

施設での集団検体採取を実施

- ・ 当該施設に検体採取可能な看護師がいたため、**パターン2**で採取を実施
(検体採取は施設看護師2名、採取補助や事務は県職員3~4人)
- ・ 入所者40名、職員60名を鼻咽頭で検体採取（所要時間90分）
- ・ その結果、新たに2F入所者5名陽性、職員3名陽性と判明



A特別養護老人ホーム（1F：通所及び事務所 2・3F：入所）の場合

2日目

集団検体採取後、治療方針の打ち合わせ

- 施設が連携している医療機関ではコロナ治療ができないことを確認
- 施設から**県へ治療介入を依頼**することを決定
- 入所者の中で治療希望の有無や症状の有無、経口薬の内服可否を確認して「**意向確認リスト**」を更新、県へ提出



3日目


県が手配した医療機関が往診治療を実施

- 県がクラスター往診医療機関に治療を依頼
- 当該医療機関が**往診**にて**経口薬処方**と**中和抗体療法**を実施
- 入院が必要になった入所者は、管轄保健所が入院先を調整

施設での療養・健康観察

- 容態が安定している入所者は、施設内での療養を継続
- 所定の日数経過後に療養が終了
- 徐々に療養中の入所者が減り、最終的に療養者がいなくなることで収束（さらに10日経過で終結）



パターン	検体採取	検体採取補助	事務・準備
パターン1 県から派遣された者が すべて対応します	県・登録技師 	県職員A 	県職員B 
パターン2 施設の看護師さんがいる場合は、 検体採取をお願いします	施設看護師 	県職員A 	県職員B 
パターン3 体制が整っている場合は、 検体採取とその補助を施設の方に お願いします	施設看護師 	施設職員 	県職員B 

(検体採取対象者が多い場合、チームの人数はこの限りではありません)

検体採取及び治療実施状況

令和4年6月5日現在

施設種別	施設数 (実)	検査実施者数			陽性者数			治療実施施設		
		入所者	職員	計	入所者	職員	計	施設数	中和抗体	経口薬
特別養護老人ホーム	4 (4) 件	125人	60人	185人	0人	14人	14人	3件	13人	0人
介護老人保健施設	2 (2) 件	115人	151人	266人	21人	4人	25人	1件	0人	10人
介護医療院	1 (1) 件	83人	54人	137人	1人	2人	3人	1件	0人	19人
有料老人ホーム	8 (7) 件	370人	196人	566人	69人	10人	79人	5件	27人	10人
養護老人ホーム	2 (1) 件	35人	42人	77人	12人	3人	15人	1件	3人	8人
軽費老人ホーム	1 (1) 件	47人	0人	47人	3人	0人	3人	0件	0人	0人
認知症グループホーム	2 (2) 件	22人	24人	46人	8人	4人	12人	2件	12人	0人
計	20 (18) 件	833人	491人	1,324人	128人	23人	151人	13件	55人	28人

陽性者が発生したが治療未実施 : 2 施設 (入院対応、無症状や発症日が治療対象外、治療希望無し等)
 協力医師に依頼 : 3 施設 (※ 1 施設は県調整医療機関 (中和抗体) と協力医療機関 (経口薬) の2カ所で治療介入)
 陽性者0人 : 2 施設

☐ 保健所及び指定権者等に速やかに連絡

▶ 施設内の状況を確認し、感染者（疑い含）数等を把握

▶ **日次報告webフォームに情報入力**

☐ 職員及び入所者の濃厚接触者特定

▶ 報告の方法は管轄の保健所の指示に従ってください。

☐ 施設内で療養する感染者の健康管理方法を保健所に相談

▶ 感染した入所者について、入院調整、健康管理方法、保健所への報告、急変時の対応等の相談

☐ ゾーニングを行う

▶ 検査結果が判明する前に部屋を移動することは危険です。

▶ 施設の図面を用意し、生活空間を「汚染区域（レッドゾーン）」「清潔区域（グリーンゾーン）」のエリアに区分し施設内で共有

☐ 治療に向けた調整

▶ 協力医療機関にて治療することができる場合は協力医療機関に相談

▶ 協力医療機関が治療することができない場合は、県の「施設入所者治療調整チーム」に相談